

## 学習内容報告書 フォーマット

学校名	大阪市立豊崎小学校
授業者	長谷川 舞

### 1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

#### 1-1. 単元名

海を学ぶ

#### 1-2. 学年

第6学年

#### 1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間

#### 1-4. 単元の概要

##### ①船内活動

- ・様々な課題に対して、創意工夫しながらチームで取り組む。
- ・自ら目標を設定して積極的に挑戦する。

##### ②海の現状を知ろう（友ヶ島体験活動）

- ・ビーチコーミングを行い、「海ごみ」を拾う。
- ・シュノーケリングをして海の中を観察し、「海ごみ」の環境への影響を体感する。

#### 1-5. 単元設定の理由・ねらい

友ヶ島には今、大量のごみが海流に乗って流れ着いている。また、自分たちの地域から近い淀川から捨てられたごみも漂着しているということで少しでも自分たちが身近なこととして考えられるのではないかと考えた。事前学習では、友ヶ島に行き、自分たちにできることは何かを考えさせた。児童の中には、「海が汚くなりすぎて遊べなくなったり、生き物が住めなくなったりしないようにビーチコーミングをする。」「海のために、海に生きる生物のために一つでもごみを少なくする。」「マイクロプラスチックの原因となるプラスチックを多く拾う。」などの意見が出た。友ヶ島の「海ごみ」の現状を直接目で見ることで、より自分事として問題を考えられるようにしたい。

#### 1-6. 育みたい資質や能力、態度

「自分一人ぐらい一生懸命しなくてもなんとかなる」ではなく、心を合わせ協力すること、互いを認め励まし合うことの大切さを学ぶ。

自分たちの生活が、自然環境を脅かしているという事実知り、自分たちにできることを探して行動していかうとする意欲を育てる。

1-7. 単元の展開（全12時間）

時 数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1 ～ 6	<p>○船内活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マスト登り 高さ15mのマストに自らの手足のみで登る。</li> <li>・セイルハンドリング みんなで力を合わせてセイルを展帆、畳帆する。</li> <li>・バウスプリット渡り 船首の突き出たバウスプリットの先端までを往復する。</li> <li>・ロープワーク 船にとってとても大切なロープの様々な結び方を体験する。</li> <li>・操舵体験。 実際に船の舵をとる。</li> <li>・星空観察</li> </ul>	<p>○体験活動を通じて、苦手なことにもチャレンジし、仲間とのつながりを大切にして、全ての活動に最後まで諦めずに取り組むことができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間と協力し、最後まで諦めずに取り組むことができたか。</li> </ul>
7 ～ 12	<p>○海の現状を知ろう（友ヶ島体験活動）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海釣り</li> <li>・デッキウォッシュ ヤシの実等を使用して甲板を磨く。</li> <li>・ビーチコーミング 友ヶ島に上陸し、「海ごみ」を観察し拾う。</li> <li>・シュノーケリング シュノーケリングをして、海の中を観察し、「海ごみ」の環境への影響を感じる。</li> </ul>	<p>○海刷り、ビーチコーミングやシュノーケリングを行うことで、海を身近なものとして捉え、「海の環境と人間の生活との関わり」について自分の課題として考えることができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「海の環境と人間の生活との関わり」について自分の課題として考えることができたか。</li> </ul>

## 2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいても構いません。

### 2-1. 単元における位置づけ

単元  時間中の  時間目

※例：単元10時間中の2時間目 / 単元15時間中の4,5時間目

### 2-2. 本時の目標

自分で考え判断し、進んで行動しようとする態度、失敗を恐れずチャレンジする心を育てる。

### 2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
1、友ヶ島に上陸し、ビーチコーミングを行う。	○友ヶ島の海岸を覆う「海ごみ」にはどんなものがあるのか、観察しながら拾うようにする。拾う際は、危険なものには触らないことを伝え、安全にビーチコーミングするようにする。11月の作品展で、「海ごみ」でアート作品を作り、小学校や地域の方に「海の環境問題」を考えてもらうきっかけになるような取り組みを今後することを伝え、自分たちの生活と関わりのある「海ごみ」を拾うようにする。
2、シュノーケリングを行う。	○活動班ごとに、みらいへスタッフの指示に従い安全に気を付けてシュノーケリングを行うことができるようにする。海の中に生息する生き物や、「海ごみ」のかんきょうに対する影響を観察し、環境問題について考えることができるようにする。 ・ビーチコーミングやシュノーケリングを通して、「海の環境問題」について自分事として考えることができたか。

### 3. 今回の活動の自己評価

実際に友ヶ島に上陸すると、児童の予想とはかけ離れた量のごみが漂着しており、児童からは驚きの声が聞こえた。ビーチコーミングの時間は20分程度だったが、大きなごみ袋6つ分は優に超える量が集まった。しかし、周りのごみは「減ったように感じなかった。」との意見がでた。また、海中では魚が見えた嬉しそうに話す反面、所どころにペットボトルやビニール袋などが見え「悲しくなった。」という児童もいた。体験を通じて、自分たちの生活が地球環境を脅かしているという事実を知り、自分たちにできることを探して行動していこうとする意欲を高めることができた。

### 4. 今後の課題

自分たちが修学旅行で学んだことを、これからの生き方に生かせるよう、常に意識させていくことが必要である。

### 5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

※実施した单元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS明朝、10.5ポイント / マージン：上下端20mm、左右端16mm

※ファイル名は「学習内容報告書\_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書\_海洋市立パイオニア小学校1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。